

市の人事行政の公平性・透明性を高めるため、職員数や給与、勤務条件等についてお知らせします(令和7年4月1日現在)。

給与・定員管理等について

1. 給与の状況

①職員給与費(令和6年度決算額)

職員数	給料	職員手当	期末・勤続手当	合計	1人あたり
1,095人	42億 8,605万円	10億 7,422万円	18億 2,499万円	71億 8,526万円	656万円

②平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	40.6歳	336,953円	418,051円

※「平均給料月額」とは、令和7年4月1日現在における職員の基本給の平均です。「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当等の諸手当の額を合計したものです。

③初任給

区分		沼津市	国
一般行政職	大学卒	225,600円	総合職:230,000円 一般職:220,000円
	高校卒	192,900円	188,000円

④経験年数別の一般行政職(大学卒)平均給料月額

10年	20年	25年	30年
283,808円	365,515円	388,467円	418,257円

⑤各種手当

ア 期末手当、勤勉手当(令和6年度支給割合)

区分	期末手当	勤勉手当	合計
6・12月期	2.5月分	2.1月分	4.6月分

イ 退職手当(令和6年度支給割合)

区分	自己都合	応募認定・定年
最高限度	47.709月分	47.709月分

ウ 地域手当(令和6年度決算額)

支給率	1人あたり平均支給年額
6%	240,000円

エ 特殊勤務手当(令和6年度決算額)

種類	1人あたり平均支給年額
14種類	103,000円

オ 時間外勤務手当(令和6年度決算額)

支給総額	1人あたり平均支給年額
4億2,150万円	423,000円

カ その他手当

扶養手当、住居手当、通勤手当、管理職手当等

⑥特別職の給料等

区分	市長	副市長	教育長	議長	副議長	議員
給料・報酬月額	100万5千円	80万円	72万5千円	60万円	53万7千円	49万3千円
期末手当(令和6年度支給割合)	6・12月期 4.55月分 (議長、副議長、議員は6・12月期 4.6月分) 支給額は、給料・報酬月額×1.2×支給割合					

2. 任免及び職員数の状況

①職員数

令和6年度	令和7年度	対前年度増減
1,915人	1,955人	+40人

②採用及び退職

採用	退職(退職、免職、失職)					
	定年	応募認定	普通	死亡	その他	合計
139人	23人	10人	60人	2人	4人	99人

※採用は令和6年4月2日～令和7年4月1日の人数。退職は令和6年4月1日～令和7年3月31日の人数。

勤務条件・服務等について

1. 勤務時間その他の勤務条件の状況

①一般職員の勤務時間(特別な形態による場合を除く)
8時30分～17時15分

②年次有給休暇の使用状況(令和6年1月1日～12月31日)
1人あたり平均12.2日使用

③特別休暇等の導入状況

- ・病気休暇：公務上傷病、私傷病
- ・特別休暇：結婚、産前、産後、看護、忌引、夏季等
- ・介護休暇：家族の介護
- ・組合休暇：職員団体業務従事

2. 休業に関する状況(令和6年度)

育児休業の取得者 男性19人、女性39人

3. 退職管理の状況(令和6年度)

課長級以上の退職者のうち企業等へ再就職した者は0人

4. 分限及び懲戒処分(令和6年度)

分限処分者					懲戒処分者				
降給	降任	休職	免職	合計	戒告	減給	停職	免職	合計
0人	0人	9人	0人	9人	2人	4人	0人	1人	7人

5. 服務の状況

不祥事再発防止に向け、公務員倫理の確保、服務規律の遵守等に関する庁内通知、職員研修を実施し、その周知徹底を図りました。

6. 研修の状況

沼津市人材育成基本方針に基づき、職員研修所研修及び職場研修等を実施しました。

7. 福祉及び利益の保護の状況

定期健康診断、ストレスチェック等を実施し、職員の健康維持・増進を図りました。

8. 人事評価の状況

全職種において実施しました。

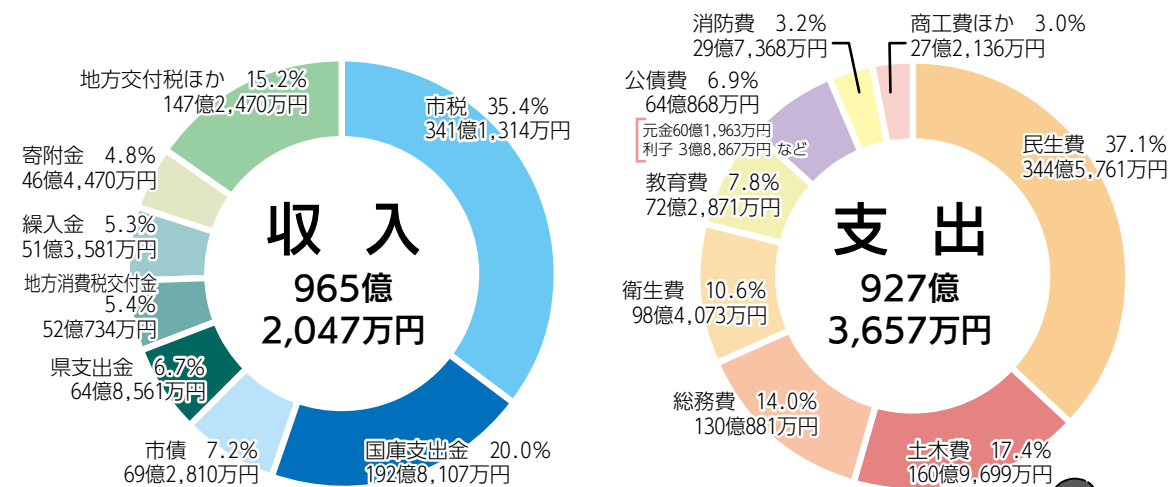
9. 公平委員会の業務の状況

勤務条件に関する措置の要求及び不利益処分に係る審査請求はありませんでした。

令和6年度の沼津市決算は、市議会9月定例会で認定されました。決算の概要をお知らせします。

一般会計

一般会計は、市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、市民の皆さんの暮らしに直接関係のある道路や学校の整備、福祉やごみ処理などの事業を行うための会計です。



◆一般会計を市民1人あたりに換算すると

市税収入 18万4,491円 < 支出 50万2,466円

国や県からの補助金等も活用して、1人あたりの市税収入の約2.7倍の行政サービス(支出)を提供しました。
※1人あたりの市税収入を計算する際、国からの交付金は含みません。 ※人口は184,563人(令和7年3月末時点)で計算しています。

◆沼津市の一般会計を、年収478万円(月収39万8,000円)の一般家庭の家計簿に置き換えてみると

収 入 の 部				支 出 の 部			
一般家庭		沼津市の一般会計		一般家庭		沼津市の一般会計	
給料など	398,000円	市税など	5,107,932万円	食費、 医療費、 光熱費など	290,865円	人件費	1,126,369万円
		国・県支出金など	3,851,305万円			扶助費	2,322,760万円
		市 債	692,810万円			物件費ほか	3,604,754万円
合 計	398,000円	合 計	9,652,047万円	ローン返済	26,424円	公債費	640,830万円
収 入 - 支 出				ローン返済			
一般家庭		沼津市の一般会計		車の購入や 家の修繕	65,107円	投資的経費	1,578,944万円
翌月繰越預貯金	15,604円	繰越金新規積立	378,390万円	合 計	382,396円	合 計	9,273,657万円

市有財産の残高

※()内の数字は市民1人あたりの財産です。



建物	642,316㎡(3.48㎡)
土地	33,136,304㎡(179.54㎡)
有価証券	7,403万円(401円)

出資金	15億7,565万円(8,537円)
基金	237億6,377万円(128,757円)
立木	121,859㎡(0.66㎡)

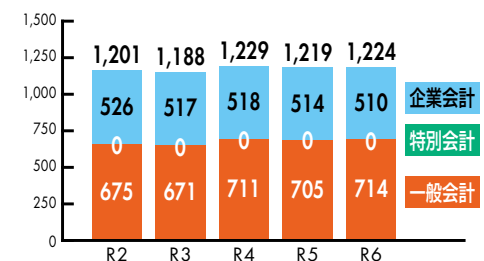
市債と企業債の状況

市債とは、学校や道路等、後世にわたって使用するものを建設するためなどに、国や銀行から長期に借り入れる資金(借金)のことです。事業の財源を確保し、その返済を長期間分割することで、市の財政負担を均一にし、世代間の住民負担を公平にするという役割も果たしています。

企業債とは、病院・水道・下水道の事業運営に必要な設備投資などのための借入金です。

市ホームページには、一般会計の決算の詳細や特別会計・企業会計の決算、財政指標の状況等について掲載していますのでご覧ください。

●市債・企業債等残高の推移(単位:億円)



市職員の給与等についてお知らせします



詳細は、ホームページをご覧ください。



人事課

☎055-934-4707

令和6年度沼津市決算状況をお知らせします



詳細はこちら



財政課

☎055-934-4715